

# 第41回 全日本社会人馬術選手権大会 ファイナル (障害選手権)

## 実施要項

1. 競技日程  
令和5年3月25日(土)～26日(日)
2. 開催場所  
壬生乗馬クラブ  
〒321-0211 栃木県下都賀郡壬生町国谷2123
3. 競技種目  
障害飛越競技 (高さ 100cm まで)
4. 出場資格  
日本社会人団体馬術連盟 馬術技能資格 AまたはBグレードに認定され、当年度に登録されている者
5. 競技方法  
競技規定は、国際馬術連盟障害飛越競技会規程第27版及び日本馬術連盟競技規程第34版、国民体育大会馬術競技規程(最新版)(失権時の減点算出法)を採用する。2反抗失権とし、基準タイム及び早着減点の設定など一部ローカルルールを採用する。使用予定馬が故障などにより使用不能となった場合、競技前・途中の如何を問わず、予備馬による再走行を行う。ただし、馬匹の故障が選手に起因すると思われる場合には、当該選手の再走行を認めない場合がある。
  - (1) 予選  
選手を、1ブロック4名からなる6ブロックに分け、各ブロックに3頭の馬匹を割り当て、各選手はそれぞれの馬匹に騎乗し、3鞍の総合成績によって勝敗を決する。各ブロックの上位1名が準決勝へ進出する。
  - (2) 準決勝  
3名からなる2ブロックに分け、各ブロックの上位2名が決勝へ進出する。
  - (3) 決勝戦は4名がそれぞれ2頭の馬匹に騎乗し、2鞍の総合成績によって勝敗を決する。
6. 順位の決定方法
  - (1) 選手の騎乗成績の合計により各ブロック内の順位を決定する。
  - (2) 予選における各ブロック内の順位は、次の者を上位とする。
    - ア 減点の少ない者

イ 減点合計が同点の場合は、各走行タイムの基準タイムとの差の絶対値の合計の少ない者

ウ イで決まらない場合は、減点 0 の多い者

エ 以上で決まらない場合は、抽選とする。

(3) 準決勝、決勝戦は FEI 規程 238 条 2-1 による。

## 7. 表彰

(1) 個人表彰

- 第 4 位までを入賞とし、表彰する。

(2) 馬匹表彰

- 最優秀馬匹賞 1 頭

## 8. その他

(1) 参加者・馬取扱者・観覧者の事故疾病について、主催者は応急処置をするが、その責は負わない。また、出場選手は、何らかの傷害保険に加入していること。

(2) 服装は FEI 規定を適用し、出場者は必ず保護帽を着用すること。保護帽は容易に脱落しないよう恒久的に取り外しが出来ない顎紐がシェル部に 3 点以上で固定されたものでなければならない。チャップス等での出場は認められません。

また、安全のため、エアバッグ式ベストなどのプロテクターの着用を強く推奨します

(3) 出場選手の技術の向上、事故防止に心がけること。危険防止の観点から、主催者及び審判団の協議に基づき改善を指導する場合がある。

(4) 出場者数及び馬匹その他の理由により、やむを得ず要綱及び日程等の一部を変更して実施する場合がある(競技の詳細などについては、当日の打合わせにおいて説明する)。

(5) 拍車は、丸拍又は棒拍とし、審判長の指示により着用を認めない場合がある。

(6) 審判長が認めた場合を除き、上記(2)(5)に違反した場合、失権とする。

(7) 準備運動は 3 分 2 飛越とする。クロス障害が設置されている場合はその飛越回数は除く。

(8) 準備運動場における飛越回数オーバーは失権、逆標旗飛越はその都度罰金 3 万円を課す。

(9) 1 回戦および準決勝で敗退した選手は、競技役員としてその後の大会運営を手伝うこと。

(10) 本大会は(公社)日本馬術連盟の「馬術競技会における新型コロナウイルス「COVID-19」感染拡大予防ガイドライン」、および日本社会人団体馬術連盟の「新型コロナウイルス対策ガイド」に基づき開催する。

すべての選手及び関係者・来場者は別紙記載のガイドラインを遵守し、感染防止に十分な配慮をするとともに、「健康観察・行動記録」を団体ごとに毎日競技開始前に提出すること。提出されていない場合は、出場を認めない場合がある。

また、エントリー時に新型コロナウイルスに関する「誓約書」を必ず提出すること。

その他詳細は別添の「新型コロナウイルス対応ガイド」を確認すること。